

▽ 泊 真児 准教授 TOMARI, Shinji



所 属： 総合文化学部 人間福祉学科
 担当科目： (学部) 心理学Ⅰ、心理学Ⅱ、心理学基礎演習、
 社会心理学Ⅰ、心理学ゼミ、基礎演習
 (大学院) 心理統計法特論

学歴等のプロフィール

- ①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

① 筑波大学大学院心理学研究科心理学専攻博士課程修了
② 博士(心理学 筑波大学)
③ 日本心理学会、日本社会心理学会、日本グループ・ダイナミクス学会、日本教育心理学会、他
④

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践例 1)心理学Ⅰ(2コマ)	2011年4月～7月	前期、1年次対象、一般講義、 共通科目、単位数2、授業回数15回、 授業登録者数(157名、162名) 特記事項1:毎回、受講内容に関するコメントを リアクション・ペーパーに記入・提出させている。 教員は全てに目を通し、次回授業でそれらの一 部を紹介し、コメントする。これを通して、前回授 業内容の振り返りと、当日の授業内容とのつな がりを意識化させている。 特記事項2:授業内で適宜、クイズや課題を与 え、全体または個別質問を投げかけることで、 学生参加型の授業となるよう心がけている。 特記事項3:授業内で適宜、当日の授業内容に 関連する書籍、映画等を紹介し、学生が授業外 で自習する際の情報提供を行っている。

2)社会心理学 I	2011年4月～7月	<p>前期、2年次対象、一般講義、 選択科目、単位数2、授業回数 15 回、 授業登録者数(122名)</p> <p>特記事項1:毎回、受講内容に関するコメントを リアクション・ペーパーに記入・提出させている。 教員は全てに目を通し、次回授業でそれらの一 部を紹介し、コメントする。これを通して、前回授 業内容の振り返りと、当日の授業内容とのつな がりを意識化させている。</p> <p>特記事項2:授業内で、講義テーマに関わる心 理テストやクイズ、課題を行っている。また、講 義テーマに関連する質問を全体または個別に 行うことで、学生参加型の授業となるよう心がけ ている。</p> <p>特記事項3:授業内で適宜、当日の授業内容に 関連する文献等を紹介し、学生が授業外で自 習する際の情報提供を行っている。</p>
3)心理学ゼミ	2011年4月～7月	<p>通年、3年次対象、演習、共通科目、 単位数4、授業回数 30 回、 授業登録者数(6名)</p> <p>特記事項1:学生の要望等もふまえ、映画など の視聴覚教材を題材に、心理学的視座からの 討論と解釈を全員で行う。それをふまえ、日常 的な話題や社会的な問題と、人間の心理や行 動との関わりについて考察が深まるよう配慮し ている。</p> <p>特記事項2:履修登録者が少人数であるため、 コメントする機会を全員に与え、授業に参加・関 与させることを重視している。</p>
4)基礎演習	2011年4月～7月	<p>通年、1年次対象、演習、必修科目、 単位数4、授業回数 30 回、 授業登録者数(24名)</p> <p>特記事項1:専任教員4名でチームティーチング を行っている。授業の前と後に、教員全員でミ ーティングを行い、授業の振り返りと授業計画 の検討をしている。</p> <p>特記事項2:前期は、アカデミック・ライティング の技術を養う目的で、授業内と授業外の2本立</p>

<p>5)心理学基礎演習</p>	<p>2011年4月～7月</p>	<p>てでライティングの演習課題を与えている。提出させたホームワーク課題については、教員とSAの両者が添削をし、学生へのフィードバックを行っている。</p> <p>特記事項3:大学での学び(レポート作成、調べ学習、プレゼンテーション等)が、将来の進路や人生にどのように役立つかを説明することを心がけている。</p> <p>通年、2年次対象、演習、必修科目、単位数4、授業回数30回、授業登録者数(12名)</p> <p>特記事項1:心理学の基礎的な実験を実際に体験した上でレポートを書かせることで、科学的な思考法・研究法が実践的に身につけられるように工夫している。</p>
<p>2. 作成した教科書、教材、参考書・方法の実践例</p> <p>1)基礎演習における共通教材の開発</p>	<p>2011年4月～7月</p>	<p>2011年度に、人間福祉学科心理カウンセリング専攻の教員と共に、基礎演習における共通のライティング課題の開発を行い、1年生向けの教材として現在使用している。なお、教材開発にあたって、2011年度沖縄国際大学FD支援プログラム(代表者:井村弘子准教授)の支援を受けている。</p>
<p>2)心理学 I</p>	<p>2011年4月～7月</p>	<p>毎回の講義内容に関する資料をパワーポイントで作成し、学生に配布している。心理学以外を専攻する学生たちの理解度に配慮し、図解やイラストを用いた親しみやすい教材作成に努めている。</p>
<p>3)社会心理学 I</p>	<p>2011年4月～7月</p>	<p>毎回の講義内容に関する資料、補助資料をパワーポイントやワード等で作成し、学生に配布している。</p>

3. 学生支援活動 1) 学習支援 演習系授業における履修指導	2011年4月～7月	支援内容: レポートの書き方、文献の探し方などについて指導・助言を行っている。 指導学生数: のべ3名 オフィスアワー: オリエンテーション時など、適宜、オフィスアワーの曜日時間帯を周知するよう努めている。
2) 生活支援 遅刻・欠席者への指導および相談	2011年4月～7月	支援内容: 遅刻・欠席が多い学生を個別に呼び出して、相談や指導を行っている。 指導学生数: のべ12名
4. 学外での教育活動 特記事項なし		特記事項なし
5. 教育改善活動 1) FD 研修会への参加	2011年4月	新任者 FD 研修会に計3度参加し、参加者と意見交換を行い、教育改善の知見を得た。

研究業績等

【 主要論文及び主要著書 】

泊真児 他 8 名共著 2010 家庭・学校・地域における子育てコミュニティの再生に関する実践研究④ー数量化Ⅲ類による育児に関係するお困りごとと解決リソースの関係の分析ー人間関係学研究(大妻女子大学人間関係学部紀要), 11, 51-61. 湯川進太郎・泊真児・大石千歳(共監訳) 2007 『スポーツ社会心理学ーエクササイズとスポーツへの社会心理学的アプローチ』 北大路書房 泊真児 2001 一般的性格 『心理測定尺度集Ⅰ』 第3章 pp.109-135. サイエンス社 泊真児 2001 ライフスタイル 『心理測定尺度集Ⅱ』 第10章 pp.431-435. サイエンス社 泊真児・吉田富二雄 1999 プライベート空間の機能と感情及び場所利用との関係 社会心理学研究, 15, 77-89.

研究分野

社会心理学、臨床社会心理学、環境心理学

【Eメール・ホームページ等】

stomari [at] okiu.ac.jp

平成 23 年 10 月 1 日現在